

せつめい上手せつめいになるう
3年 組 食べ物ブックを作るう
めあて

「こうせいメモをもとに文章を書こう。」

気を付けたいこと

「ここには、授業で学習したことなどを学級の実態に合わせて書きましよう。」
(例)
原稿用紙の使い方
段落ごとの一マス空け
学習した接続語の例
問いの文の例
終わりの文の始まり「このように」
自分の考えが分かることは など

見直しをするポイント

かん字や言葉のまちがいはないか

長すぎる文はないか。

つながり言葉はおかしくないか。

主語・述語しよごはきちんとつながっているか。

11～15 / 17 時間目 指導略案 使用するワークシート… 及び情報カード、原稿用紙

活動のねらい

構成メモを基に文章を書くことができるようにする。

1 本時のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。

本時の時間配分を明らかにしておき、個人作業の時間の見通しをもたせる。

2 構成メモを基に文章を書く。

構成メモの内容を確認する。

「はじめ」「中」「終わり」がうまくつながるかを確認させる。

「すがたをかえる大豆」の「はじめ」の書き方や「中」部分の接続語の使い方などを参考にさせて、作業を進めさせる。

下書き用の原稿用紙に書かせる。(ワークシート) 段落の意識をもたせるために、段落ごとに一枚ずつ書かせるようにする。

うまく文章を書けない児童には、友達の原稿を参考にさせたり、口頭で文章を引き出してから書かせるようにする。

3 推敲する。

下書きを読み直し、推敲する。

全体を読み返し、漢字、主述のねじれ、接続語などの見直しをさせる。

4 清書する。

原稿用紙に清書する。

丁寧に書かせ、必要ならば写真や絵を入れさせる。

書き終えたら友達同士で読み合わせる。

5 本時を振り返り、自己評価をする。

評価 段落ごとの情報を基に、段落相互の関係を考え文章を書くことができる。

*本時は5単位時間を予定している。児童の進行状況に合わせて時間の調節が必要です。

一つ目の作品が早く出来上がった児童には、二つ目のテーマに挑戦させるようにしたい。